

『カーテン』 作：ポチ子

締め切ったカーテンを開けると、

青空だった。

ああ、外はこんなに良い天気だったのか。

一瞬気分が晴れた。

たまに外に出かけた時もそうだ。

一瞬だけ、清々しい気分になる。

今日は遠くまで足を伸ばそうか、

そうも思う。

でも、私は知っている。

生きていれば、また辛くなるのだ。

カーテンを開ける前の、

外に出る前の、

暗い気持ちだが、

心に纏わりついて離れない、

そんな日がまたやってくるのだ。

だったら、

こんな気持ちに何の意味があるんだろう。

どうせ辛くなるのだ。

どうせ。